

「ブランディア」は、ブランド+アイデアの造語で、アイデア溢れるブランド商品を提供したいという強く激しい思いと、企業が当たり前のことを当たり前に、繰り返し続けていくという「ブランディング」の「繰り返しの法則」という創業者の一念を含め命名いたしました。

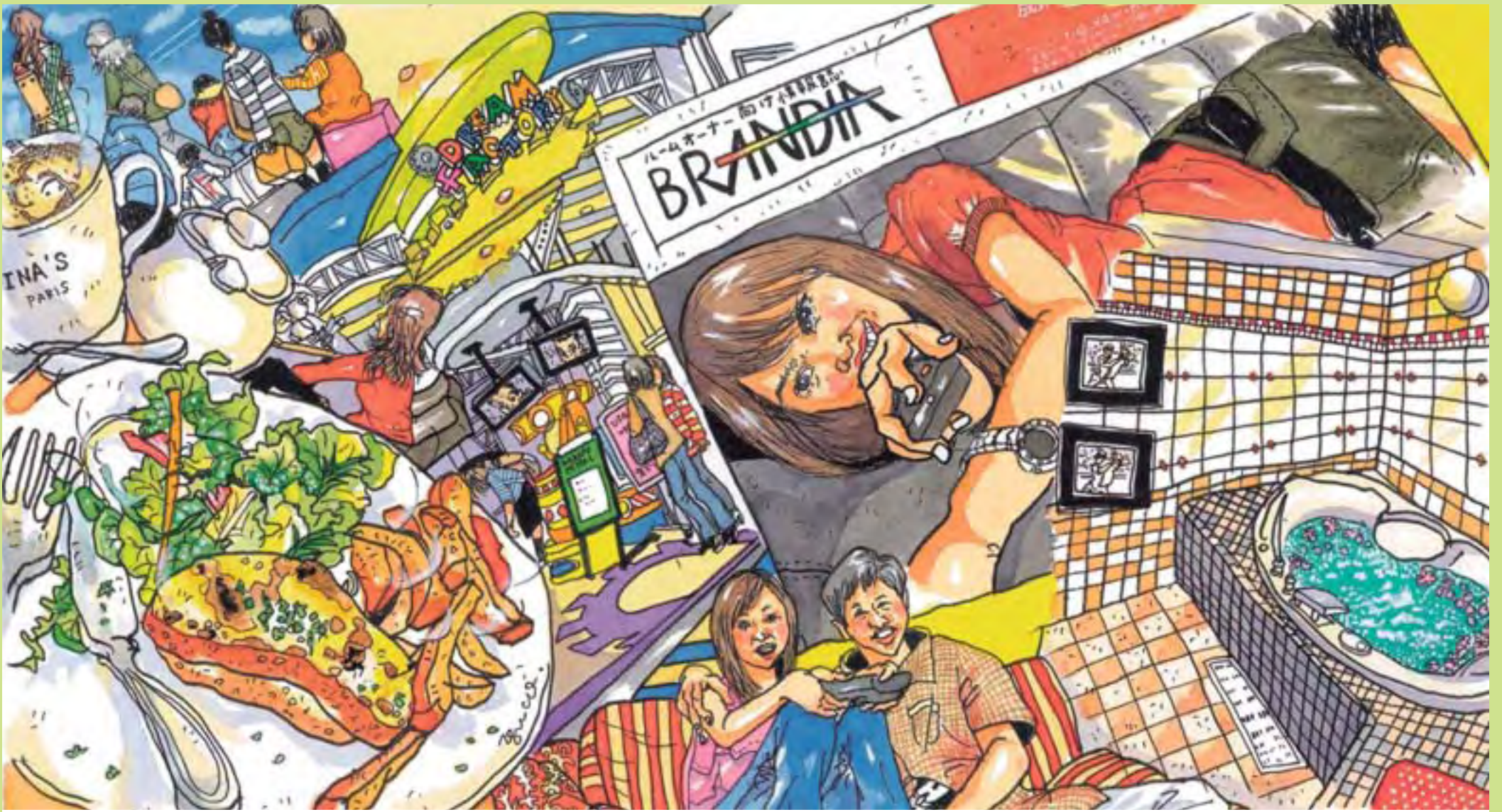


イラスト もんでんゆうこ <http://blogs.yahoo.co.jp> デザイン 国江千文

### NEWS

## 集客力のある 人気アイテムを ぜひ、この機会に

アナログ地上波放送の中止が決定し、一般家庭での認知度が高まってきた「地上波デジタル放送」。アミューズメント施設やホテルなどの商業施設でも、2011年からは地デジ対応が必要になりますが、準備はお済みでしょうか？「テレビはすべて買い換えなければいけないのか？」「どのくらいのコストがかかるのか？」「いつごろが買い替えの好タイミングなのか？」本当に必要なものは何か、ASKがお答えいたします。

## 超進化！テレビ選択の時代 導入は先回りの戦略で!!

### I テレビの選択

#### ① 「薄く」「大きく」「明るく」技術を競う

2003年液晶、プラズマテレビが、ブラウン管テレビを出荷価格で越えてから5年が経過した。2003年以来、薄型テレビの普及は急速に進んでいる。

今後は、液晶TV、プラズマTVに加え、2007年秋、ソニーが発売した有機EL、さらにブラウン管のように明るいSEED (self-electro-optic effect device)、リアプロジェクション (背面投射型) が注目されている。

#### ② 価格はどうなるのか

ブラウン管テレビやアナログVTRの時代には、日本企業が開発、生産を大きくリードしていたが、今は、韓国、台湾、中国のメーカーも多く、デジタル部品を調達して組み立てることも容易になっています。現状は、大手ブランドメーカーと船井、ユニデン、などの新規参入メーカーの2極化が進み価格に大きな差が出てきています。

業界調査機関であるディスプレイリサーチは、2006年に比べ2010年世界液晶テレビの価格は4割安、プラズマは半額となると予想しています。

#### ③ 未来のテレビはスーパーハイビジョン

2015年ごろから、映画館、テーマパーク、ホテル等で業務用として広く使われ始めることが予想されています。近い将来スーパーハイビジョンを使った新しいビジネスが誕生してくることも考えられます。

#### ④ ディスプレー比較表

##### ■ 特徴

プラズマディスプレイ	ガラス基盤にある3色の蛍光灯自体が発光するため、色再現や動画表示に優れる。
液晶ディスプレイ	液体と固体の中間物質である液晶を利用したディスプレイ、背後に蛍光灯等のバックライトが必要になる。
有機ELディスプレイ	液晶のようにバックライトが不要で、薄く出来る。2007年秋ソニーが世界に先がけて商品化した。

##### ■ 内容

方式	プラズマディスプレイ	液晶ディスプレイ	有機ELディスプレイ
薄さ	10~20cm	3.44~8.5cm	2~3mm
最大	松下150型	シャープ108型	ソニー11型
主力メーカー	松下、日立、パイオニア、富士通	シャープ、東芝、サムスン	ソニー、キャノン、サムスン
将来性	△	○	◎

### ■ 薄型テレビを巡る提携

松下、日立、キャノン	シャープ、東芝、パイオニア	ソニー、サムスン	ビクター、フナイ
------------	---------------	----------	----------

\*SEEDは07年春東芝、キャノンの両社から発売を予定していたが、特許問題、価格競争問題で遅れている。

### II 伝送の選択

伝送方式は、現状衛星デジタル放送として、CSで約180チャンネル、BSで12チャンネル、CATV約60チャンネルあるが、他にCATV、インターネット配信、FTTF、VODなどがある。

### III 競争による進化/テレビとネットの融合

アクビラ	パソコン向けのネット動画配信が普及、パソコンがテレビの機能を取込みつつある中で、ソニー、松下、シャープ、東芝、日立の5社が2006年テレビポータルサービス「アクビラ」を開始した。動画配信は「ビデオ、オン、デマンド方式」で、映画や音楽、アニメなどを対象に今春には2千本程度を用意する。価格は新作映画で1作品あたり700円前後とレンタル店と比べ200~300円高。
アップルTV	パソコンに保存した動画をテレビ無線で転送して見られるようにしたテレビ。さらに、米グーグルの傘下に入った動画供給の最大手ユーチューブと提携して、ユーチューブの動画を見られるようにした。
マイクロソフト	リモコンを使ってパソコンをテレビのように簡単に使える基本ソフトに力を入れている。パソコンにテレビチューナーを搭載し、パソコンとテレビの一体化を目指している。

### IV 業務用としてのテレビ

競争により映像機器及び映像伝送において急激な進化をもたらしているが、あくまでも一般家庭が対象となるため、ルーム市場においては必ずしも即、当てはまるものではありません。

### V テレビの選択

現状を分析するとテレビはシャープ・松下を中心にしたブランド品と船井・ユニデン等のセカンドブランド品に区分されます。大きさにもよりますが32インチのブランド品は1インチ4,000~5,000円で、セカンド品は1インチ2,500円となっています。

今後、有機ELの長寿命化及び大型化が早まれば、更なる競争が激化し、2011年7月24日アナログ廃止前後にはセカンド品は1インチ1,500~2,000円となることも考えられます。

とするならば、50インチで75,000~100,000円、70インチでも105,000~140,000円となります。テレビは、次の店舗改装計画を視野に、次の戦場で待つという「先回りの戦略」で考えることをお勧めいたします。

業務用スカパーはASK(アスク)まで。ホテル館内やあらゆる店内で衛星放送を業務用として放映する権利処理と設置工事を行っております。詳しくはホームページをご覧ください。

株式会社 ASK  
<http://www.cs-ask.co.jp>

衛星放送ASK

検索

〒190-0023 東京都立川市柴崎町6-16-8  
E-mail: [eisei@cs-ask.co.jp](mailto:eisei@cs-ask.co.jp)

Tel.042-523-4649 Fax.042-527-5777 営業時間/AM9:00~PM6:00(月~金曜)  
(メンテナンスのお問い合わせ/AM8:00~PM8:00 年中無休 ※土日・祝日 AM9:00~PM6:00)